



2022年4月21日

「新型コロナウイルス感染症による旅行市場への影響」調査 国内宿泊旅行の意欲は 8.5pt 増加して 64.2%まで回復

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（センター長：沢登 次彦）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の旅行業界への影響度を旅行者の視点から測り、地域および宿泊施設を主とした今後の回復期に向けた具体的施策の立案に役立てていただくために、「新型コロナウイルス感染症による旅行市場への影響」調査を2020年3月より継続して実施しており、調査内容とともに最新の結果をご報告致します。

■ 調査トピックス

国内宿泊旅行の意欲は2022年1月から8.5pt増加し、64.2%が旅行に前向き

「予定をしており、気を付けながら行く層」は8.2pt増加して18.6%に

○2022年3月末時点の潜在層を含めた国内宿泊旅行の意欲は前回調査から8.5pt増加して64.2%となった。

○「予定をしており、気を付けながら行く層」が前回調査から8.2pt増加して18.6%、「旅行をキャンセル・しばらく行かない層」は6.7pt減少して16.1%となった。

全体の20.0%がゴールデンウィークの国内宿泊旅行に意欲ありと回答

温泉やグルメを30%以上の人を選択しているが、屋外型レジャーを中心に多様な目的も選択されている

○ゴールデンウィークの国内宿泊旅行に意欲のある人は全体の20.0%。

○国内宿泊旅行に意欲のある人の挙げた目的は「温泉や露天風呂」「地元の美味しいものを食べる」が30%超だが、屋外型のレジャーを中心にさまざまな目的も選択されている。目的地までの移動方法は「自家用車」と「レンタカー」の合計が58.3%でトップ。目的地は「居住都道府県と隣接している（境界が接している）都道府県への旅行」と「隣接都道府県よりも遠くの旅行でおおよそ300Km圏内への旅行」が26.0%で同率トップ。希望する宿泊施設は「旅館」が20.2%に、「ビジネスホテル」が18.7%と続く。

○実際に「旅行に行く予定である人」から取得した同行者は、「家族旅行（子連れ）」の36.6%がトップで、「夫婦旅行」の21.5%、「カップル旅行」の14.0%が続いた。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2022年4月21日

■ 調査概要

調査目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の旅行業界への影響度を旅行者の視点から測り、地域および宿泊施設を主とした今後の回復期に向けた具体的施策に役立てる

調査対象者

マクロミル会員モニター 20歳～79歳 1,652人

性別および年代（20・30代／40・50代／60・70代）による均等割付を実施

調査時期

第12回：2022年3月28日(月)～2022年3月29日(火)

(過去の調査時期)

第1回：2020年3月19日(木)～2020年3月20日(金)
 第2回：2020年3月26日(木)～2020年3月27日(金)
 第3回：2020年5月15日(金)～2020年5月16日(土)
 第4回：2020年10月30日(金)～2020年10月31日(土)
 第5回：2021年1月13日(水)～2021年1月14日(木)
 第6回：2021年3月23日(火)～2021年3月24日(水)

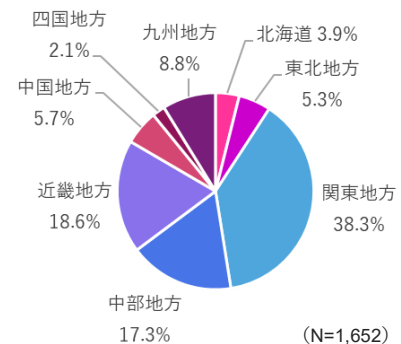
第7回：2021年5月28日(金)～2021年5月29日(土)
 第8回：2021年7月12日(月)～2021年7月14日(水)
 第9回：2021年9月27日(月)～2021年9月28日(火)
 第10回：2021年11月24日(水)～2021年11月25日(木)
 第11回：2022年1月28日(金)～2022年1月29日(土)

第12回調査における回答者のプロフィール

		宿泊を伴う国内旅行				
		調査数	年3回以上	年2回	年1回	ほとんど行かない
全体		(1,652)	18.2	19.2	26.2	36.5
性別 × 年代	男性	(826)	18.2	18.4	25.8	37.7
	20代	(70)	18.6	21.4	21.4	38.6
	30代	(206)	18.0	22.8	27.2	32.0
	40代	(127)	12.6	17.3	28.3	41.7
	50代	(149)	18.8	12.8	25.5	43.0
	60代・70代	(274)	20.4	17.9	24.8	36.9
	女性	(826)	18.2	20.0	26.5	35.4
	20代	(90)	23.3	18.9	32.2	25.6
	30代	(186)	14.0	22.6	25.3	38.2
	40代	(145)	15.2	14.5	28.3	42.1
50代	(131)	18.3	16.8	27.5	37.4	
60代・70代	(274)	20.8	23.0	24.1	32.1	

※宿泊を伴う国内旅行は、2020年2月以前について (%)

居住地域



		個人年収							
		調査数	200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800万円以上	わからない	無回答
全体		(1,652)	34.1	22.3	14.1	5.9	4.4	7.5	11.7
性別 × 年代	男性	(826)	15.6	26.9	23.5	10.8	7.7	6.7	8.8
	20代	(70)	38.6	20.0	18.6	1.4	-	10.0	11.4
	30代	(206)	13.6	22.8	31.6	11.2	5.8	3.4	11.7
	40代	(127)	10.2	22.0	26.8	14.2	9.4	3.9	13.4
	50代	(149)	10.7	16.8	26.2	16.8	16.1	6.0	7.4
	60代・70代	(274)	16.4	39.4	15.7	8.0	5.8	9.9	4.7
	女性	(826)	52.7	17.8	4.7	1.0	1.0	8.4	14.5
	20代	(90)	30.0	37.8	6.7	1.1	-	6.7	17.8
	30代	(186)	42.5	19.4	7.5	2.2	-	7.0	21.5
	40代	(145)	51.0	18.6	4.8	0.7	2.1	9.0	13.8
50代	(131)	48.9	16.8	3.8	-	0.8	11.5	18.3	
60代・70代	(274)	69.7	10.2	2.6	0.7	1.5	8.0	7.3	

【比率の差】
 男/女計 + 10pt
 男/女計 + 5pt
 男/女計 - 5pt
 男/女計 - 10pt
 n=30以上

(%)

2022年4月21日

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大から現在（2022年3月末時点）までの国内宿泊旅行の意欲の推移

国内宿泊旅行の意欲は2022年1月から8.5pt増加し、64.2%が旅行に前向き

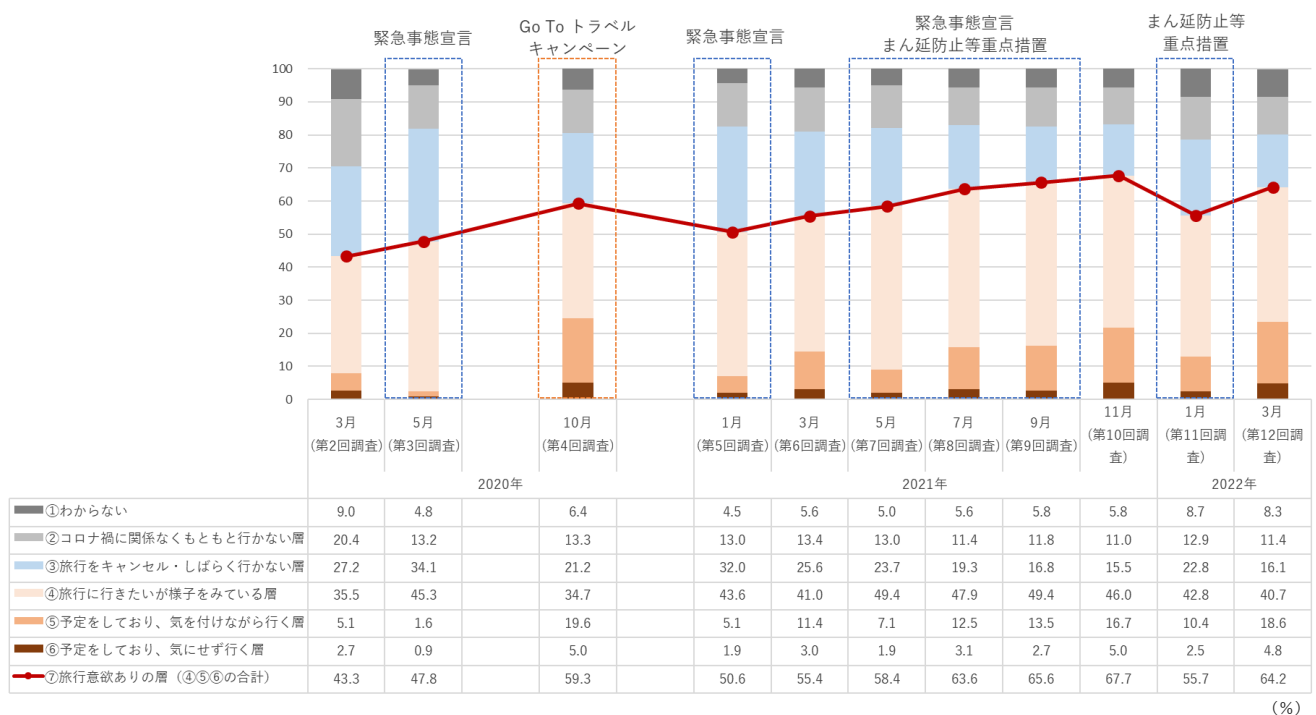
「予定をしており気を付けながら行く層」は8.2pt増加して18.6%に

新型コロナウイルス感染症の影響下の国内宿泊旅行に関する旅行意欲について、時期ごとの変化を分析した（下図参照）。

今回調査（2022年3月末）では「④旅行に行きたいが様子をみている層」「⑤予定をしており、気を付けながら行く層」「⑥予定をしており、気にせず行く層」を合計した「⑦旅行意欲ありの層」（赤い折れ線）は前回調査（2022年1月末）から8.5pt増加して64.2%を占めた。

また、「⑤予定をしており、気を付けながら行く層」が前回調査から8.2pt増加して18.6%に、「③旅行をキャンセル・しばらく行かない層」は6.7pt減少して16.1%となった。

Q.今後のレジャーの計画についてお聞きます。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、現時点でのお気持ちに近いものをお選びください。
※複数予定しているものがある場合は、直近で予定しているものについてお答えください。【国内宿泊旅行】（全体/単一回答）



※各項目は以下の回答を合計した

①わからない：「わからない」

②コロナ禍に関係なくもともと行かない層：「新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない」

③旅行をキャンセル・しばらく行かない層：「予定をしていたが、キャンセルした（したい）」「予定はないが、気になるのでしばらく行かずもみはない」

④旅行に行きたいが様子をみている層：「予定をしていたが、延期した（したい）」「予定をしていたが、どうするか考えている」「予定はないが、事態が落ち着いたら行きたい」「予定はないが、むしろ積極的に行きたい」

⑤予定をしており、気を付けながら行く層：「予定をしており、気を付けながら行く」

⑥予定をしており、気にせず行く層：「予定をしており、気にせず行く」

※いずれの調査も n=1,652

※第1・2回調査はいずれも同じ月内（2020年3月）に行ったため、第2回調査データを利用した

2022年4月21日

■ 2022年のゴールデンウィークの国内宿泊旅行の動向について

全体の20.0%がゴールデンウィークの国内宿泊旅行への意欲あり
 温泉やグルメが30%以上の人に選択されているが、
 全体としては屋外型レジャーを中心に目的が幅広く選択されている

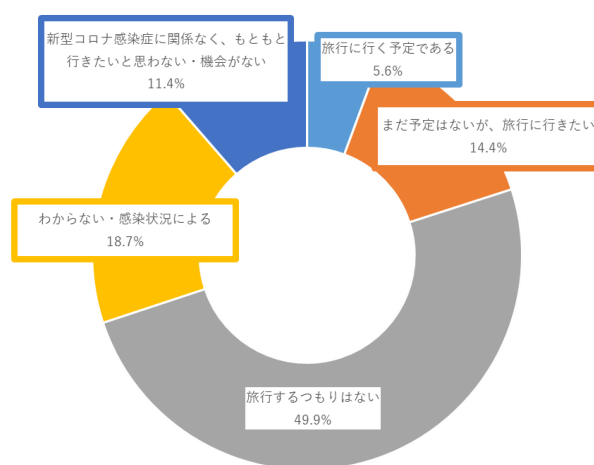
■ ゴールデンウィークの旅行意欲

2022年のゴールデンウィークの国内宿泊旅行について「旅行に行く予定である」と回答した人は全体の5.6%で、「まだ予定はないが、旅行に行きたい」と回答した人は14.4%であり、これらを合計した「旅行意欲のある人」は20.0%だった。

国内宿泊旅行についてお聞きます。今後の国内宿泊旅行について、いつ頃予定があったり、行きたいと思いますか。【2022年GW】
 (全体/単一回答)

調査数	旅行に行く予定である	まだ予定はないが、旅行に行きたい	旅行するつもりはない	わからない・感染状況による	新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない
(1,652)	5.6	14.4	49.9	18.7	11.4

※本項目は別途聴取した現時点での気持ちに関する設問において「新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない」と選択した188人を除外した1,464人に対して「旅行に行く予定である」「まだ予定はないが、旅行に行きたい」「旅行するつもりはない」「わからない・感染状況による」という選択肢から単一回答を得たものであるが、当該188人については「新型コロナ感染症に関係なく、もともと行きたいと思わない・機会がない」という選択肢を選択したものとみなして、アンケート総数の1,652に対する割合として集計した。



ゴールデンウィークの国内宿泊旅行について「旅行意欲のある人」から旅行目的、目的地までの交通手段、旅行で行きたい地域、泊まりたい宿泊施設を聴取した。また旅行の同行者については「旅行に行く予定である人」から同行者の予定を聴取した。

2022年4月21日

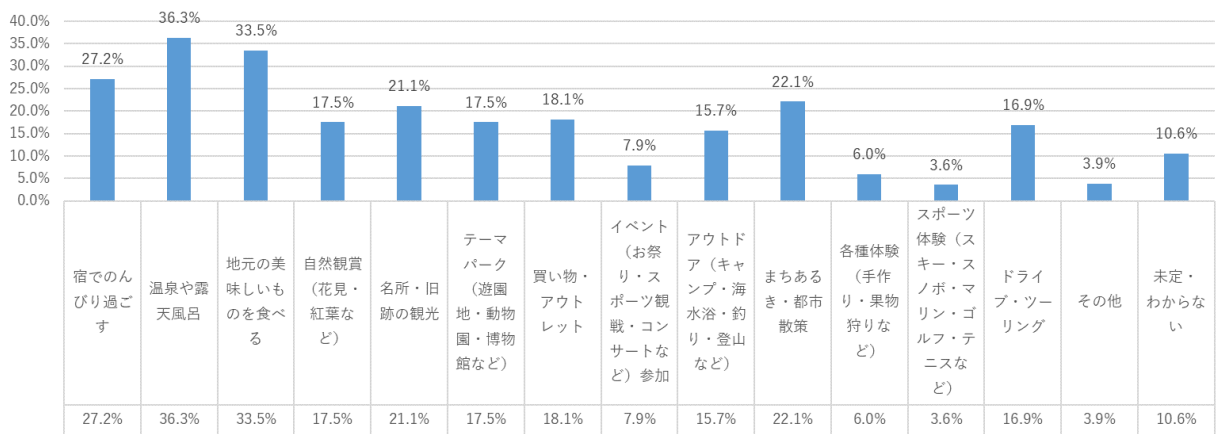
■ゴールデンウィークの旅行目的

旅行の目的は「温泉や露天風呂」が36.3%でトップであり、「地元の美味しいものを食べる」の33.5%、「宿でのんびり過ごす」の27.2%が続いた。また「まちあるき・都市散策」「名所・旧跡の観光」は20%以上、「テーマパーク」「ドライブ・ツーリング」「アウトドア」なども15%以上だった。

現在、希望または予定されている、国内宿泊旅行について、どのような旅行目的を考えていますか。(いくつでも)【2022年GW】(国内宿泊旅行予定・希望者/複数回答)

調査数	宿でのんびり過ごす	温泉や露天風呂	地元の美味しいものを食べる	自然観賞(花見・紅葉など)	名所・旧跡の観光	テーマパーク(遊園地・動物園・博物館など)	買い物・アウトレット	イベント(お祭り・スポーツ観戦・コンサートなど)参加	アウトドア(キャンプ・海水浴・釣り・登山など)	まちあるき・都市散策	各種体験(手作り・果物狩りなど)	スポーツ体験(スキー・スノーボード・マリンスポーツ・ゴルフ・テニスなど)	ドライブ・ツーリング	その他	未定・わからない
(331)	27.2	36.3	33.5	17.5	21.1	17.5	18.1	7.9	15.7	22.1	6.0	3.6	16.9	3.9	10.6

(%)



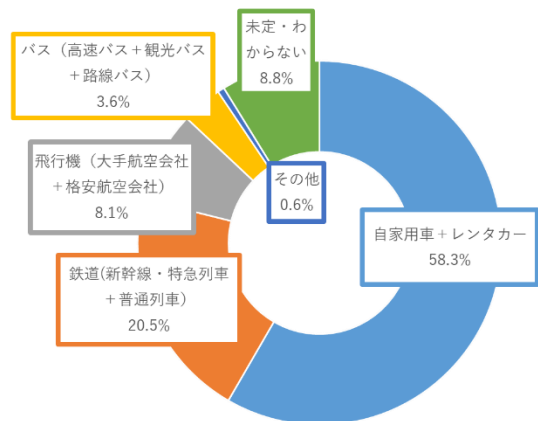
■ゴールデンウィークの旅行での目的地までの主な交通手段

目的地まで移動する主な方法は、「自家用車」と「レンタカー」の合計が58.3%を占め、続いて鉄道(新幹線・特急列車と普通列車の合計)が20.5%、飛行機(大手航空会社・格安航空会社の合計)が8.1%、バス(観光バス・高速バス・路線バスの合計)が3.6%だった。

現在、希望または予定されている、国内宿泊旅行について、目的地まで移動する方法として、主にどのような交通手段を利用する予定ですか。【2022年GW】(国内宿泊旅行予定・希望者/単一回答)

調査数	自家用車	レンタカー	観光バス(ツアーバス・貸切バスなど)	高速バス	路線バス	
(331)	52.3	6.0	1.2	2.1	0.3	
	新幹線・特急列車	普通列車(新幹線や特急列車以外の鉄道)	大手航空会社(JAL・ANAなど)	格安航空会社(LCC)	その他	未定・わからない
	14.2	6.3	6.3	1.8	0.6	8.8

(%)



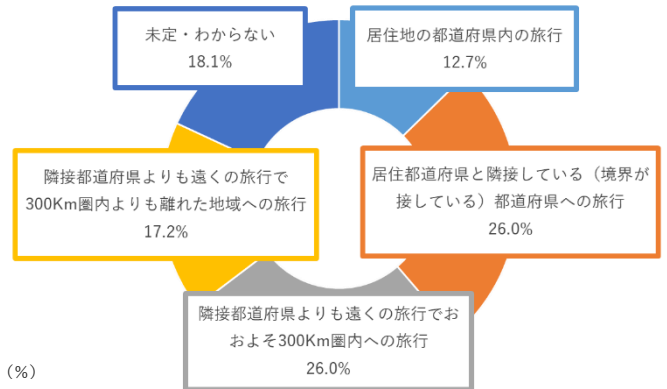
2022年4月21日

■ゴールデンウィークの旅行で行きたい地域

旅行先は「居住地の都道府県内の旅行」が12.7%、「居住都道府県と隣接している（境界が接している）都道府県への旅行」が26.0%、「隣接都道府県よりも遠くの旅行でおよそ300Km圏内への旅行」が26.0%、「隣接都道府県よりも遠くの旅行で300Km圏内よりも離れた地域への旅行」が17.2%だった。

現在希望または予定されている、国内宿泊旅行について、どのような地域への旅行に行きたいですか。（※）300Km圏内の距離とは、東京＝福島、大阪＝名古屋、福岡＝鹿児島が圏内です。対して、東京＝仙台、札幌＝青森は300Kmを超えています。※複数検討や予定をしている場合は、一番希望している旅行を想定して選択してください。【2022年GW】（国内宿泊旅行予定・希望者／単一回答）

調査数	居住地の都道府県内の旅行	居住都道府県と隣接している（境界が接している）都道府県への旅行	隣接都道府県よりも遠くの旅行でおよそ300Km圏内への旅行	隣接都道府県よりも遠くの旅行で300Km圏内よりも離れた地域への旅行	未定・わからない
(331)	12.7	26.0	26.0	17.2	18.1

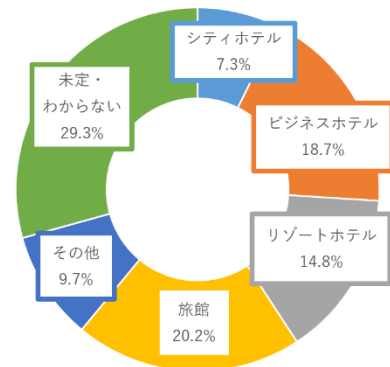


■ゴールデンウィークの旅行で泊まりたい宿泊施設

希望する宿泊施設は「旅館」が20.2%、「ビジネスホテル」が18.7%、「リゾートホテル」が14.8%、「シティホテル」が7.3%と続く。一方で「未定・わからない」も29.3%あった。

現在、希望または予定されている、国内宿泊旅行について、泊まる予定の宿はどのような宿ですか。 ※複数検討や予定をしている場合は、一番希望している宿を選択してください。【2022年GW】（国内宿泊旅行予定・希望者／単一回答）

調査数	シティホテル	ビジネスホテル	リゾートホテル	旅館	その他	未定・わからない
(331)	7.3	18.7	14.8	20.2	9.7	29.3

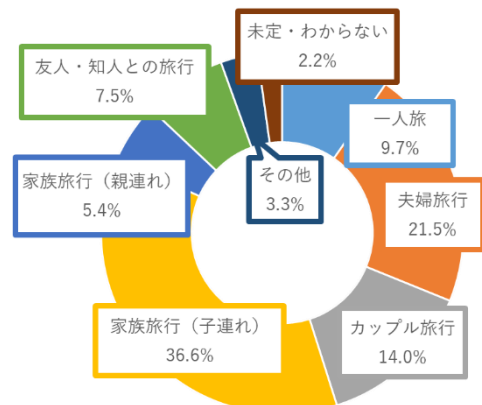


■ゴールデンウィークの旅行の同行者

ゴールデンウィークの国内宿泊旅行の予定が実際にある人から聴取した同行者の予定は、「家族旅行（子連れ）」の36.6%がトップで、続いて「夫婦旅行」が21.5%、「カップル旅行」が14.0%、「友人・知人との旅行」が7.5%であり、「一人旅」は9.7%になった。

国内宿泊旅行を実際に予定している方について、どなたと旅行に行く予定ですか。当てはまるものをお選びください。 ※複数検討や予定をしている場合は、一番希望している同行者を選択してください。【2022年GW】（国内宿泊旅行予定者／単一回答）

調査数	一人旅	夫婦旅行	カップル旅行	家族旅行（子連れ）	家族旅行（親連れ）
(93)	9.7	21.5	14.0	36.6	5.4
	家族旅行（その他）	友人・知人との旅行	職場やサークルなどの団体旅行	その他	未定・わからない
	2.2	7.5	1.1	0.0	2.2



※ドーナツ型のグラフの「その他」は設問における「家族旅行（その他）」「職場やサークルなどの団体旅行」「その他」の合計。

2022年4月21日

■ 『じゃらんリサーチセンター』による解説



『じゃらんリサーチセンター』研究スタッフ 五十嵐 大悟

感染状況の落ち着きを受けて旅行意欲は回復

ゴールデンウィークは幅広い目的や宿泊施設が選択される傾向に

国内宿泊旅行について意欲を持つ人は前回調査（2022年1月）から8.5pt増加しました。今回発表した、第12回調査は2022年3月28日（月）に開始しましたが、この日は3月21日（月）に全国全てのまん延防止等重点措置が解除されてからちょうど1週間後に該当します。

旅行者は感染状況やワクチン接種の広がりなどを受けて、旅行実施の判断をしていることがうかがえ、2022年のゴールデンウィークについては全体の20.0%が国内宿泊旅行について前向きな回答をしています。ゴールデンウィークの旅行では、目的や希望する宿泊施設が幅広く選択されており、コロナ禍を受けて旅行者自身が本当にやりたい旅行を考えるようになり、それぞれの希望に沿った旅行方法を自ら選択するような傾向が進んだことを示している可能性もあります。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>